



OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

Rotary Club of Osaka-Temmabashi



第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪

会長 箕村 保 幹事 御木 威 ヲグ・アヅム・広報委員長 高松 貞彦

事務局電話 (06) 6344-0120 FAX (06) 6344-0126 ホテル電話 (06) 6347-7111

E-mail: temma-rc@temmabashi-rc.com http://temmabashi-rc.com

世界に希望を生み出そう

2023-2024年度RIテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

NOVEMBER 30 2023 NO. 2642

ロータリ財団月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2642回)
- 2) ソング 村祭
- 3) 卓話 「ラグジュアリー考」
柳澤 興平会員
- 4) 年次総会 次年度理事・役員選挙
- 5) 12月度定例理事会

次週(12月7日)のお知らせ

- 1) 例会 (2643回)
- 2) 国旗およびロータリー旗に礼
- 3) ソング 君が代・奉仕の理想
- 4) クリスマス家族会

** 先々週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

皆様こんにちは。本日は地区ロータリー財団委員会から、川上哲司様が卓話に来ていただいております。後ほどよろしくお申し上げます。また大阪ロータリークラブから荻野浩平様、ようこそお越しいただきました。ごゆっくりお食事ご歓談下さい。

昨日11月15日にRACの例会に出てまいりました。卓話の依頼を受け30分ほどお話をさせていただきました。山崎会長の挨拶で、11月15日当日は七五三の日ですというお話がありました。

私も幼い頃袴を着てお宮参りをしている写真があるのを思い出しました。11月15日が七五三の日と決まったのは、徳川家光の子供で徳松、後の將軍綱吉が特別体の弱い子だったそうです。その弱い子が無事に成長するよう、お祈りをしたのが11月15日だったということです。その後すくすくと成長して將軍にまでのぼったということでその日が七五三になったそうです。子供の成長を願ってお祈りする儀式ということでは今と変わりはありませんが昔は生存率が大変低かったそうです。今とは少し違いますが時代を感じさせるお話でした。

今週の土曜日は3世代合同事業の琵琶湖クルーズがごさいます。ご参加の会員の皆様よろしくお申し上げます。また、多額の協賛金をいただき誠にありがとうございます。大事に使い、子供たちの笑顔に変えられたらなと思っております。

本日はビアフレンド会がごさいます。会場が変わりニュートーキョーで開催されます。まだまだ席が余っているようですので、お時間ございましたら、ご参加よろしくお申し上げます。

最後に次年度理事役員について本日まで候補者の推薦がございませんでした。先に指名委員会から指名されました次々年度会長候補者中島 清治会員、次年度の副会長候補者：郡 悦清会員・幹事候補者：小寺 寿矢会員・会計候補者：箕村 保会員・理事候補者：高橋 俊起会員・吉村 圭太会員・末澤 正大会員・川原 和彦会員・御木 威会員が現在指名された候補者でごさいます。11月30日例会終了後の年次総会におきまして、次年度理事役員の選挙を行います。皆様ご出席の上、会員選任のご審議をよろしくお祈りいたします。

以上会長挨拶でした。ありがとうございました。

文部省唱歌「村祭(むらまつり)」

作曲 南能衛 作詞者 不詳

村の鎮守の 神様の
今日はめでたい 御祭り
ドンドンヒヤララ ドンヒヤララ
ドンドンヒヤララ ドンヒヤララ
朝から聞こえる 笛太鼓
トシ ほうねん 満作で
年も豊年 満作で
村は総出の 大祭
ドンドンヒヤララ ドンヒヤララ
ドンドンヒヤララ ドンヒヤララ
夜まで賑う 宮の森

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

鰯・大根のトリロジー
フランクフルトソーセージ
柚子ムース、酒粕のシフォンケーキ
パンとバター
コーヒー又は、紅茶

☆☆ 出席報告 ☆☆ () 内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	1名	会員総数	43名	11月16日の出席率	72.22%
国内ゲスト	1名	会員出席	26名(36名)	5週間前(10月26日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	17名	マークアップを含む出席率	78.38%
外国ゲスト	0名	会員欠席	10名	マークアップ実施会員	2名(欠席者10名)

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①「新年初例会」のご案内を本日お配りしております。出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ②「2024年国際大会へのお誘い」並びに「台北陽明扶輪社47周年へのお誘い」を本日お配りしております。
- ③No2・3・4・5テーブル情報集会のご案内を本日お配りしております。
- ④クリスマス家族会の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ⑤「IM第4組 ロータリーデー」の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ⑥次週11月23日(木)は定款(祝日)により休会にさせていただきます。
- ⑦次々週例会終了後、年次総会を開催させていただきますのでご出席よろしくお願いたします。
- ⑧次々週年次総会終了後「12月度定例理事会」を開催いたします。本日ご案内させていただいておりますので関係各位宜しくお願いたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

結婚記念日自祝	箕村 保
結婚記念日自祝	福原 哲晃
箕村会長結婚記念日に素敵なお花をありがとうございます	川原 和彦
美しいお花ありがとうございました	西井 幾雄
結婚記念日自祝	中川 政照
在籍8ヶ年自祝	柳澤 興平
地区ロータリー財団委員会	川上哲司様
財団月間記念卓話宜しくお願致します	

国際奉仕委員会

令和5年11月16日	合計金	36,000円
	累計金	978,000円

☆☆ 先々週(11月16日)の卓話 ☆☆

ロータリー財団月間記念卓話

「ロータリー財団への寄付はなぜ必要か」

地区ロータリー財団委員会

委員 川上 哲司様

国際奉仕委員会

皆様、こんにちは。

地区ロータリー財団資金推進小委員会の委員を拝命しております、大阪天王寺RCの川上哲司と申します。平素はロータリー財団へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本日は、「ロータリー財団への寄付はなぜ必要か？」というテーマでお話させていただきます。

お話をさせていただく項目は

1. ロータリー財団への寄付はなぜ必要か？
2. 財団寄付の種類について
3. 恒久基金に関する誤解！？
4. 本年度の地区目標について
5. 財団寄付の認証について(個人・クラブ)でございます。

1. ロータリー財団への寄付はなぜ必要か？
財団に寄付して頂いた金額のうち半分弱が2660地区に還元されます。その還元された財団寄付金は各クラブからの申請に基づき地区補助金として交付され、皆様の奉仕活動の財源として活用されています。財団への寄付金の一部は、皆様の奉仕活動に充てられるという点がポイントとなります。

また、2660地区に還元されない部分については世界各地での奉仕活動の財源となっております。事例が地区ホームページに掲載されておりますのでお手すきの際にでもご参考頂ければと思います。

2. 財団寄付の種類について
年次基金(普通寄付と特別寄付)、ポリオプラス基金、恒久基金、ロータリー災害救援基金などがあります。ポリオプラス基金に関しましては、10/19日に私と同じ苗字の川上が卓話をさせていただいておりますので、本日は割愛させていただきます。

では、本題の年次基金寄付と恒久基金寄付のお話に戻りたいと思います。

年次基金寄付と恒久基金寄付は困っている方の為に使われますが、目的が異なる寄付となります。

「年次基金寄付」は、今日の人びとへの支援に生かされる寄付となります。「恒久基金寄付」は、後世のロータリー会員が末永く奉仕活動を継続していけるように創設された寄付で、恒久基金への寄付は「永久に」生かされることとなります。

恒久基金寄付の使用可能な収益の50%が2660地区に還元されます。この収益の大本となる元本は、既にお亡くなりになられた我々の先輩方が行った恒久基金寄付から生じた収益も含まれています。後世のロータリー会員の奉仕活動に生かされているという点が、「年次基金寄付」と異なる点となります。

3. 恒久基金に関する誤解！？

ベネファクターの認証は、恒久基金への寄付合計が1,000ドルに達した段階で認証されます。永年の慣習から各クラブ会長や財団委員長が就任年度に一括して1,000ドルのご寄付を行うケースが多いのではないかとされます。その結果、会長や財団委員長以外の会員の方々は恒久基金という基金自体をご存じでない方が多い状況となっております。

恒久基金寄付の元本について、実は我々が行った寄付金だけではなく、既にお亡くなりになられた先輩方が行った寄付金も含まれています。ご寄付を下された先輩ロータリー会員と現役世代のロータリー会員が世代を超えて共同で奉仕活動を行っているとも言えます。

恒久基金寄付は、後世のロータリアンの奉仕活動に「永久に、恒久的に」生かされます。

「恒久基金」は、後世のロータリー会員の奉仕活動の為に基金ですから、本来は2660地区の会員全員にご協力頂きたいというのが根底にありますので、これまでの地区目標の文言を変更させていただきました。

ただ、これは新しく設定したという意図ではなく、「恒久基金寄付」の本来の姿に戻したと認識しておりますので、ご理解頂ければ幸甚に存じます。

4. 本年度の地区目標について

年次基金(普通寄付と特別寄付)については一人当たり150ドル以上、ポリオプラスについては一人当たり50ドル以上はこれまでと変わらない目標ですが、恒久基金寄付については、本来の趣旨に戻す為に、一人当たり30ドル以上とさせていただきます。

5. 財団寄付の認証について(個人・クラブ)

今回はPHS(ポールハリスソサエティ)のご紹介をさせていただきます。毎年1,000ドル以上をご寄付頂くという認証ですが、ポールハリスフェローとは異なります。また毎年ご寄付頂く金額について、税効果を考えますと実は1,000ドルでのご負担ではありません。また、クレジットカード決済にするとマイルも獲得できる場合もありますので、正味1,000ドルのご負担にはならないのではないかとされます。

本日は、「ロータリー財団への寄付はなぜ必要か？」というテーマでお話させていただきました。今回のお話が皆様の財団寄付へのご関心を深めることが出来たら幸甚に存じます。

本日はありがとうございます。引き続き、どうぞ宜しくお願致します。

―― 3世代社会奉仕事業――

『琵琶湖クルーズ+南郷水産センター 日帰り体験』

社会奉仕委員長 望田 謙三

本年度、我が天満橋ロータリークラブは3世代合同社会奉仕事業のホストクラブとなりました。コロナ以前、同じく当クラブがホストを務めた時『児童院の生徒に琵琶湖クルーズを体験してもらおうだ!』と計画をしたのですが、天候と社会情勢により永らく断念していたのですが、今回、諸先輩方の思いをつなぐべく開催する運びとなりました。

今回はクルージング体験に加え、釣り体験もしてもらいました。ホストクラブという事もあり、当クラブからは新人の黒田淳子会員をはじめ多く(10人)の方に参加していただき、楽しく、事故無く終えることが出来ました。有難うございました。また、釣りの先生として無理を言って出席していただいた山本会員、坂口会員、RACの藤戸君、子供たちに丁寧に釣りを教えて頂きありがとうございました。

それでは、簡単ではございますが、当日の報告をしたいと思います。

- 11月18日(土)少し肌寒い天気 午前中は曇り 午後からは晴れ間が見られた
- 8:30 大型バス2台で大阪を出発し、伊ザ大津港(滋賀県)に!
- 10:15 交通渋滞もなく予定よりも早く大津港に到着。
- 10:40 会長挨拶&集合写真撮影
- 11:00 ミシガンに乗船、クルージング+ランチビュッフェ 2階スペースを貸切り、ランチビュッフェを堪能しました。その後、個々で船内を探検し、降船前にはショーをみて盛り上がりました。
- 12:30 南郷水産センターに向け、大津港を出発。
- 13:10 南郷水産センターで釣り体験(金魚)、初めての子が多かったです。釣りが上がることが出来て、皆大興奮でした。
- 15:30 天候も崩れてきたので、みんなで草魚に餌やりをし、帰路につきました。
- 16:40 無事に児童院に到着し、解散いたしました。